

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年11月17日(2005.11.17)

【公表番号】特表2005-501137(P2005-501137A)

【公表日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-002

【出願番号】特願2003-523147(P2003-523147)

【国際特許分類第7版】

C 10 J 3/00

B 09 B 3/00

// C 01 B 3/02

【F I】

C 10 J 3/00 Z A B F

B 09 B 3/00 3 0 2 G

C 01 B 3/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月21日(2004.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

高温プラズマ廃棄物処理システムの流出ガス中の炭素キャリーオーバーを処理する方法であって、下記の工程：

a) 有機物質を高温プラズマ廃棄物処理システムの処理チャンバへ導入し、それによつて該有機物質を、一酸化炭素と、水素と、炭化水素と、炭素キャリーオーバーとを含む、ガス流出物に転化する工程、

b) フィルターを通るように該ガス流出物を導き、それによつて該炭素キャリーオーバーを該フィルターに付着させる工程、

c) 該フィルターから該炭素キャリーオーバーを取り出す工程、

d) スラリーを形成するために該炭素キャリーオーバーを湿潤剤と混合する工程、該湿潤剤は、メタノール、エチルアルコール、プロピルアルコール、ブチルアルコール、ペンチルアルコール、ヘキシリアルコール、ヘプチルアルコール、オクチルアルコール、デシルアルコール、ドデシルアルコール、ギ酸、酢酸、プロピオン酸、酪酸、吉草酸、カプロン酸、カブリル酸、カブリン酸、リノール酸、リノレン酸、およびそれらの組み合わせからなる群より選択される、工程、および

e) 該スラリーを該高温プラズマ廃棄物処理システムの処理チャンバに戻す工程、を包含する、方法。

【請求項2】

高温プラズマ廃棄物処理システムの流出ガス中の炭素キャリーオーバーを処理する方法であつて、下記の工程：

a) 有機物質を高温プラズマ廃棄物処理システムの処理チャンバへ導入し、それによつて該有機物質を、一酸化炭素と、水素と、炭化水素と、炭素キャリーオーバーとを含む、ガス流出物に転化する工程、

b) フィルターを通るように該ガス流出物を導き、それによつて該炭素キャリーオーバーを該フィルターに付着させる工程、

c ) 該フィルターから該炭素キャリーオーバーを取り出す工程、スラリーを形成するために該炭素キャリーオーバーを湿潤剤と混合する工程、該湿潤剤は、水との混合物である、メタノール、エチルアルコール、プロピルアルコール、ブチルアルコール、ペンチルアルコール、ヘキシリアルコール、ヘプチルアルコール、オクチルアルコール、デシルアルコール、ドデシルアルコール、ギ酸、酢酸、プロピオン酸、酪酸、吉草酸、カプロン酸、カプリル酸、カプリン酸、リノール酸、リノレン酸、およびそれらの混合物からなる群より選択される、工程、および

d ) 該スラリーを該高温プラズマ廃棄物処理システムの処理チャンバに戻す工程、を包含する、方法。